

プログラム

13:30~13:45 オープニングセレモニー 来賓挨拶(予定)、主催者挨拶:岡崎大学懇話会 会長

13:45~14:05 岡崎女子大学 子ども教育学部 准教授 清水 万里子 (専門:英語教育)



岡崎市の小学校英語教育における児童用タブレット活用の短時間英語リスニングテスト(絵 MET:The Minimal English Test)の開発

小学校英語教育は2020年度から高学年で教科化されています。岡崎市では2010年度から独自に岡崎市英語活動カリキュラムが作成されて指導されてきました。一方で評価は、単元テスト、パフォーマンステストがありますが、学校では児童の英語力を測るテストの実施が難しい状況です。本研究は児童が学校で学んだ内容だけでリスニングテストを作成、児童のタブレット端末でオンライン上で短時間実施できるテストを開発しました。

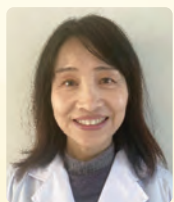
14:15~14:35 人間環境大学 心理学部 講師 今井田 貴裕 (専門:臨床心理学)



心理療法に対するイメージの検討—地方差の検討—

わが国では、心理療法を受けることに対して、抵抗感がある人も少なくない。本研究では、全国の心理療法のイメージについて調査し、地方別の比較を行う。これは、心理療法のイメージが良好な地方が見つければ、その地方の取り組みを参考にすることが可能であり、心理療法のイメージに地方差がない場合、心理療法のイメージが悪いのはわが国特有の問題として扱う必要があることが明らかとなるためである。

14:45~15:05 愛知学泉短期大学 食物栄養学科 教授 山本 淳子 (専門:食品科学・調理科学)



岡崎市の植物工場で生産されたイチゴの成分特性および官能評価について

本研究は、岡崎市の植物工場栽培イチゴと通常栽培された市販品の慣行イチゴおよび輸入イチゴの実と葉を用いた。成分分析は、ビタミンC量、総ポリフェノール量、DPPHラジカル捕捉活性、色について測定した。官能評価は、学生約40名をパネルに、5点評点法で、外観(ツヤ・色)、香り、味(甘味・酸味)として特性と嗜好について評価した結果を報告する。

15:15~15:35 愛知産業大学 造形学部 教授 宇野 勇治 (専門:建築環境デザイン)



建築専門科目における防災教育の実践と発災への備え

能登地震が発災し、今後の南海トラフ地震への備えの必要性はより一層高まっています。防災対策の必要性は感じるものの、なにをどう準備すればよいのかイメージを形成しにくいという課題があります。また、SDGsの観点からエコ建築の必要性も言われています。防災対策とエコ建築は、ともにレジリエンス性や持続可能性につながるものであることから、グループワークを通してこれらを学ぶ建築教育を試みました。

会場・アクセス

会場:図書館交流プラザ りぶら 岡崎市康生通西4丁目71番地

公共交通機関でのアクセス

名鉄名古屋本線東岡崎駅から

徒歩:北西へ約20分

名鉄バス:「岡崎駅・市民病院線(岡崎拠点快速バス)」

「亀美丘・日名町線(一部除く)」又は「岡崎北線」で「図書館交流プラザ」バス停下車

車でのアクセス

東名高速道路「岡崎IC」から、国道1号線を西へ約10分

駐車場:約450台・有料

※ただし、施設利用者は入庫から2時間まで無料、以降30分につき100円。

(夜間(午後10時から翌日の午前7時まで)は30分につき50円。)

※駐車料金の2時間無料を適用するには、図書館交流プラザ2階総合案内等必ず駐車券にチェックを受けてください。